

## 前線性降雨における鹿野川ダム・野村ダムの洪水調節効果について

平成18年6月15日の前線では、鹿野川ダム流域平均総雨量147mm（時間最大25mm）・野村ダム流域平均総雨量164mm（時間最大26mm）の降雨があった。この洪水に対して、鹿野川ダム・野村ダムでは洪水調節を行い下流の水位低下を図った。

平成18年 6月16日  
国土交通省山鳥坂ダム工事事務所  
国土交通省野村ダム管理所

### 問い合わせ先

（鹿野川ダム）  
国土交通省 山鳥坂ダム工事事務所  
事業計画課  
事業計画課長 / 大谷忠夫（内線531）  
計画係長 / 笠井和夫（内線532）  
TEL / 0893-34-2350

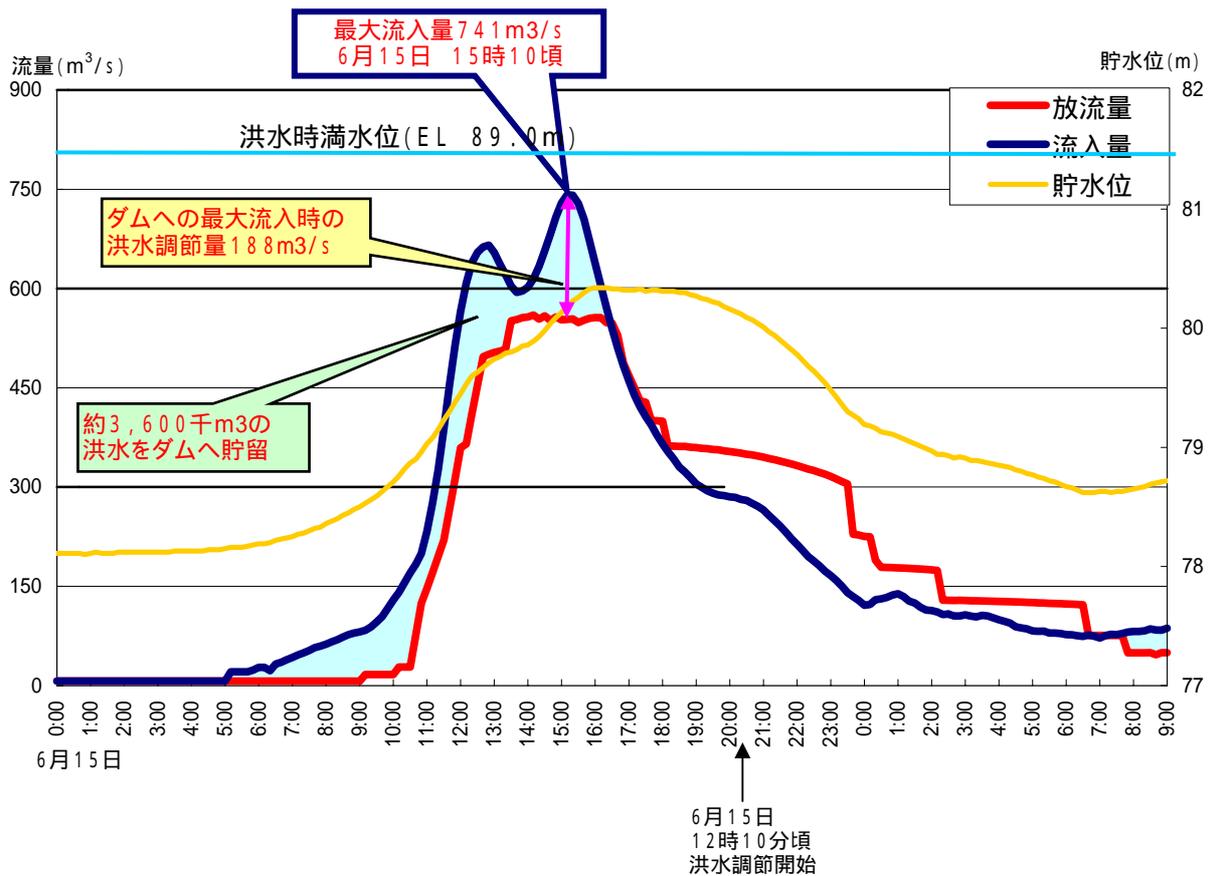
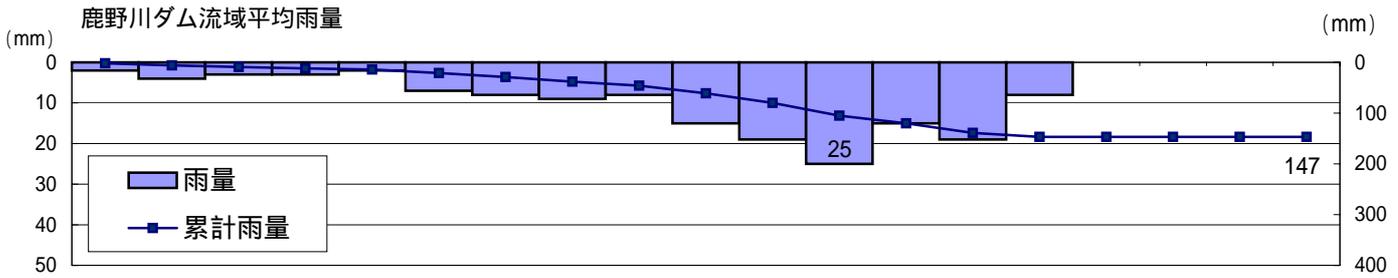
（野村ダム）  
国土交通省 野村ダム管理所  
管理所長 / 則 勢（内線201）  
管理係長 / 岡田浩孝（内線332）  
TEL / 0894-72-1211

# 平成18年6月15日(前線)における鹿野川ダムの洪水調節状況

肱川水系肱川においては、鹿野川ダムで188m<sup>3</sup>/s (最大流入量741m<sup>3</sup>/s 放流量553m<sup>3</sup>/s)を調節しており約3,600千m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、下流の水位低下に寄与した。今回の洪水操作は、概ね23時間で終了しました。

鹿野川ダム諸元(非洪水期)  
 総貯水容量 : 48,200千m<sup>3</sup>  
 洪水調節容量 : 6,500千m<sup>3</sup>  
 発電容量 : 23,300千m<sup>3</sup>  
 堆砂容量 : 12,000千m<sup>3</sup>

注)本資料に関する数値は速報値であるため、精査の結果変更もありません。



# 平成18年6月15日(前線)における野村ダムの洪水調節状況

肱川水系肱川においては、野村ダムで $41\text{m}^3/\text{s}$   
 (最大流入量 $441\text{m}^3/\text{s}$  放流量 $400\text{m}^3/\text{s}$ )  
 を調節しており、約 $318\text{千m}^3$ の洪水を貯留し、  
 下流の水位低下に寄与した。

野村ダム諸元(非洪水期)  
 総貯水容量 :  $16,000\text{千m}^3$   
 洪水調節容量 :  $800\text{千m}^3$   
 利水容量 :  $11,900\text{千m}^3$   
 堆砂容量 :  $3,300\text{千m}^3$

注)本資料に関する数値は速報値であるため、精査の結果変更もあり得ます。

